

# プレナリーセッション

■日時：11月24日(土) 13:15～14:45

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## プレナリーセッション1

Bridging Science and Community: lessons learned from 30 years' AIDS response

座長：池上千寿子(ふれいす東京)

PS1-1 30 years of AIDS: Science and human rights as the foundations of the AIDS response

Peter Piot

London School of Hygiene & Tropical Medicine, United Kingdom

PS1-2 日本におけるHIVの臨床研究と診療の30年…つづけよう、つなげよう  
Thirty years of clinical research and medical care for HIV infection in Japan

木村 哲

エイズ予防財団、東京通信病院

※同時通訳あり

■日時：11月25日(日) 14:20～15:50

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## プレナリーセッション2

最善の治療と国際的連帯  
Best treatment and international network

座長：岩本愛吉(東京大学医科学研究所)

PS2-1 Best clinical practice in HIV medicine

Joel Gallant

Professor of Medicine, Associate Director, Johns Hopkins AIDS Service

PS2-2 Best treatment and international network: Invitation to IAS 2013 in KL

Adeeba Kamarulzaman

Center of Excellence for Research in AIDS (CERiA)

University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia

※同時通訳あり

■日時：11月25日(日) 13:10～14:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

授賞式、ECC 奨励賞受賞講演開催

## アルトマーク賞受賞講演

■日時：11月25日(日) 14:00～14:20

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

アルトマーク賞受賞講演

座長 満屋裕明(熊本大学大学院)

※今回の受賞者は、10月中旬の選考委員会にて決定されます。

## ラパトアセッション

■日時：11月26日(月) 15:25～15:55

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

ラパトアセッション

座長 樽井正義(慶應義塾大学文学部)

基礎： 櫻井淳一  
大阪大学微生物病研究所

臨床： 今村顕史  
都立駒込病院感染症科

社会： 大木幸子  
杏林大学保健学部

※本年度の成果を指定発言として、基礎・臨床・社会、それぞれの専門家に語っていただきます。

# シンポジウム（基礎）

■日時：11月25日（日） 10:00～12:00

■会場：第4会場（第4校舎B棟・J24（2F））

シンポジウム  
（基礎）

International Symposium on  
Basic Research towards HIV  
Control

Chairs

Tetsuro Matano (AIDS Research Center,  
National Institute of Infectious Diseases,  
Tokyo, Japan)

Ai Kawana-Tachikawa (Institute of Medical  
Science, The University of Tokyo, Tokyo,  
Japan)

## Invited Speakers

Masaaki Miyazawa

Kinki University Faculty of Medicine, Osaka-Sayama,  
Japan

Hiroyuki Yamamoto

AIDS Research Center, National Institute of Infectious  
Diseases, Tokyo, Japan

Christian Brander

IrsiCaixa AIDS Research Institute - HIVACAT,  
Hospital Germans Trias i Pujol, Badalona, Barcelona,  
Spain

# シンポジウム（社会）

■日時：11月24日（土） 10:00～12:00

■会場：第2会場（第4校舎B棟・J19（1F））

## シンポジウム （社会）1

予防、検査・相談、治療、ケアを  
つなぐ結節点としての取り組み

座長

大木幸子（杏林大学保健学部看護学科）  
中澤よう子（神奈川県大和保健福祉事務所）

SY2-1 「クリニック検査キャンペーン」における医療機  
関への支援

川畑拓也

大阪府立公衆衛生研究所

SY2-4 HIV陽性者告知用ツール「たんぽぽ」のねらい  
とその後の波及

野口雅美

東京都福祉保健局健康安全部

SY2-2 エイズ治療拠点病院での検査・相談事業のとり  
くみ

北野喜良

国立病院機構まつもと医療センター

SY2-指定発言

NGOの立場から自治体、コミュニティと連  
携した活動

生島 嗣

特定非営利活動法人ふれいす東京

SY2-3 保健所におけるHIV陽性者支援体制の構築に  
むけた地域へのとりくみ

森かすみ

大阪府池田保健所

■日時：11月26日（月） 13:15～15:15

■会場：第3会場（第4校舎B棟・J29（2F））

## シンポジウム （社会）2

HIV検査体制の新たな取り組み

座長

加藤真吾（慶應義塾大学医学部微生物学免疫学  
教室）

今井光信（田園調布学園大学人間福祉学部）

SY3-1 保健所等におけるHIV検査体制の現状と課題

佐野貴子

神奈川県衛生研究所微生物部

SY3-4 民間クリニックにおける院内自発検査の推進

井戸田一朗

しらかば診療所

SY3-2 NPOと連携した保健所のHIV検査相談の取組み

野中圭祐

港区みなと保健所保健予防課

SY3-5 HIV郵送検査の役割と課題

須藤弘二

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

SY3-3 HIV検査の保険適用範囲拡大の意義と課題

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

SY3-6 米国におけるOTC HIV検査キット認可と  
その周辺

坪井宏仁

金沢大学医薬保健研究域薬学系国際保健薬学研究室

# セミナー

■日時：11月24日(土) 15:50～17:50

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## セミナー1

エイズ新時代・若き担い手たち  
～現場で日々感じていること～

座長 高久陽介(特定非営利活動法人日本HIV陽性者  
ネットワーク・ジャンププラス)

### トークゲスト：

矢嶋敬史郎  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

西島 健  
独立行政法人国立国際医療研究センター

羽柴知恵子  
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

與那嶺敦  
沖縄県臨床心理士会

富田健一  
北海道大学病院

大槻知子  
特定非営利活動法人ふれいす東京

### コメンテーター：

長谷川博史  
特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャン  
ププラス

大平勝美  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

企画： 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
特定非営利活動法人ふれいす東京  
特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・  
ジャンププラス

■日時：11月24日(土) 15:50～17:50

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## セミナー2

HIV診療における医療通訳の支援

座長 仲尾唯治(山梨学院大学経営情報学部)  
沢田貴志(港町診療所)

S2-1 在日ラテンアメリカ人HIV陽性者の支援から  
見た医療通訳の重要性  
岩木エリーザ  
CRIATIVOS HIV/STI関連支援センター

S2-2 拠点病院での医療通訳の必要性とその確保  
小嶋道子  
がん感染症センター東京都立駒込病院

S2-3 大阪でのHIV通訳の確保と養成・派遣の  
取り組み  
青木理恵子  
特定非営利活動法人CHARM

S2-4 東京での結核患者等への通訳派遣の取り組み  
山本裕子  
特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会

企画： 外国人のHIV予防とその評価に関する研究班

# セミナー

■日時：11月24日(土) 15:50～17:50

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## セミナー3

第3回 医療とスピリチュアル  
～ HIV/AIDS医療におけるスピ  
リチュアル・ケアを考える

司会 白阪琢磨(大阪医療センター)

企画者：白阪琢磨  
大阪医療センター

キリスト教の立場から考える  
中道基夫  
関西学院大学

シンポジスト：

心理療法のなかから考える  
仲倉高広  
大阪医療センター

サンフランシスコでの実践と臨床医の立場から  
Barry David Zevin  
Tom Waddell Health Center

地域支援のなかから考える  
榎本てる子  
関西学院大学

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## セミナー4

東アジアの経済先進国における、  
MSMとTGを対象とするエイズ対策  
の課題と今後の展望の検討  
－ Developed Asia Network on  
Sexual Diversityの取り組みから

座長 岩橋恒太(DAN-JAPAN 代表、名古屋市立大学)  
羽鳥 潤(日本HIV陽性者ネットワーク・  
JaNP+APN+)

S4-1 Laurindo Garcia  
DAN コーディネーター

S4-3 Nai Ying Ko  
台湾/国立成功大学看護学部准教授

S4-2 Roy Chan  
シンガポール/Action for AIDS理事長

共催： Developed Asia Network on Sexual  
Diversity JAPAN

# セミナー

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## セミナー5

HIV陽性者のメンタルヘルスへの  
アプローチ その4  
メンタルヘルス問題の今後に向けて  
～隣接領域であるがんの心理臨床の  
専門家を迎えて、がんや高齢化の  
テーマを考える～

座長 矢永由里子(慶應義塾大学医学部感染制御センター)  
三木浩司(小倉記念病院精神科)

S5-1 がんを抱えたHIV陽性者へのアプローチ  
高田知恵子  
秋田大学

S5 HIV陽性の高齢者やがん患者について：  
ソーシャルワークの実践から  
葛田衣重  
千葉大学医学部附属病院

S5-2 がん緩和ケアとHIVエイズケア  
小池真規子  
目白大学

S5-3 メンタルヘルスのシリーズのまとめと今後に  
向けて  
矢永由里子  
慶應義塾大学医学部感染制御センター

指定討論：

内科医師、精神科医師から見たメンタルヘル  
スの課題について

長谷川直樹  
慶應義塾大学医学部感染制御センター  
三木浩司  
小倉記念病院精神科

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## セミナー6

第2回 世界エイズデー メモリ  
アル サービス～生命をつなぐ～

司会 平良愛香、中道基夫ほか有志

企画者：仲倉高広・榎本てる子

# セミナー

■日時：11月25日(日) 15:55～17:55

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## セミナー7

HIV感染妊娠および出生児の全国調査から見えてきたもの  
～臨床的・社会的問題への対応～

座長

塚原優己(国立成育医療研究センター周産期センター産科)  
辻麻理子(国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター)

S7-1 吉野直人  
岩手医科大学微生物学講座

S7-3 喜多恒和  
奈良県立奈良病院周産期母子医療センター

S7-2 谷口晴記  
三重県立総合医療センター産婦人科

S7-4 辻麻理子  
国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

■日時：11月25日(日) 15:55～17:55

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## セミナー8

HIVカウンセリングの広がり  
と今後の検討

座長

山中京子(大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類)

S8-1 HIV診療経験の豊富な医療機関における院内常駐心理士としての活動から  
安尾利彦  
国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

S8-3 中核相談員としてのカウンセリングの展開  
～新たな構造の中での取り組み  
(交渉中)

S8-2 HIVカウンセリングの地域での展開  
～病院から様々な施設・機関へ～  
石川雅子  
千葉県健康福祉部感染症対策室・千葉市保健所疾病対策課・船橋保健所保健予防課

S8-4 カウンセリング導入の効果について考える  
富成伸次郎  
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

# セミナー

■日時：11月25日(日) 18:00～20:00

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## セミナー9

セクシュアルヘルスとアディクション

座長 岡野江美(東京女子医大附属病院)  
井上洋士(放送大学)

S9-1 HIV診療におけるアディクション  
井戸田一朗  
しらかば診療所

S9-4 回復資源としての12ステップ  
城間 勇  
RDデイケアセンター

S9-2 アディクションを抱えたHIV陽性者への看護事例  
直井寿子  
東京大学医科学研究所附属病院

企画： 井上洋士  
共催： 平成24年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」班

S9-3 アディクションの本質と回復へのアプローチ  
松下年子  
横浜市立大学/日本アディクション看護学会

協力： HIV/AIDS看護学会

# 共催セミナー

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 共催セミナー1

HIV感染症『治療の手引き』第16版

座長 木村 哲(東京通信病院)  
満屋裕明(熊本大学大学院生命科学研究部血液  
内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

KS1-1 HIV感染症治療の手引き第16版 解説  
木村 哲  
東京通信病院

KS1-2 安全性スタディ報告  
中村朋文、満屋裕明  
熊本大学大学院生命科学研究部血液内科・膠原病内科・  
感染免疫診療部

KS1-3 ウイルス性肝炎重複感染者の治療Update  
四柳 宏  
東京大学医学部附属病院感染症内科

KS1-4 HIV感染症治療の早期化と課題  
白阪琢磨  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS  
先端医療開発センター  
ほかパネリスト

共催： HIV感染症治療研究会  
ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## 共催セミナー2

最新の情報を明日の臨床に活かす  
-Year in Review 2012-

座長 松下修三(熊本大学エイズ学研究センター)

KS2-1 立川夏夫  
横浜市民病院感染症内科

KS2-2 瀧永博之  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

KS2-3 松下修三  
熊本大学エイズ学研究センター

共催： 鳥居薬品株式会社

# 共催セミナー

■日時：11月25日(日) 10:00～11:30

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## 共催セミナー3

HIV関連神経認知障害(HAND)：  
診断の実際と今後の展開

座長 岡 慎一(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)  
松下修三(熊本大学エイズ学研究中心)

### シンポジウム：

健山正男  
琉球大学

田沼順子  
国立国際医療研究センター

山本政弘  
九州医療センター

飯田敏晴  
国立国際医療研究センター

### パネルディスカッション：

高田清式  
愛媛大学

岸田修二  
都立駒込病院

健山正男、仲里 愛  
琉球大学

田沼順子、飯田敏晴、大金美和  
国立国際医療研究センター

山本政弘  
九州医療センター

共催： MIND EXCHANGE 研究会

# 共催セミナー

■日時：11月25日(日) 18:00～19:30

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

<b>共催セミナー4</b>	<b>Getting to Zero : New HIV Infections in Asia ～Getting to Zero : とともにアジア のHIV感染対策を考えよう～</b>	<b>座長</b> 岩本愛吉 (The Japanese Association for Infectious Diseases Governing Council, Asia and the Pacific, The International AIDS Society, Professor Division of Infectious Diseases, Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo)
----------------	---	--

KS4-1 Joining Forces To Get to Zero in the Asia-Pacific Region  
Adeeba Kamarulzaman  
Center of Excellence for Research in AIDS (CERiA),  
University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia  
共催： 鳥居薬品株式会社  
※同時通訳あり

KS4-2 Treatment as Prevention as a Strategy to Move towards Zero New HIV Infections: Progress and Challenges of the National HIV Care and Treatment Programs in Asia-Pacific  
藤田雅美  
HIV-TB Team Leader, World Health Organization  
Cambodia Office

■日時：11月25日(日) 18:00～20:00

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

<b>共催セミナー5</b>	<b>HIV感染症とAging</b>	<b>座長</b> 岡 慎一 (国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター) 松下修三 (熊本大学 エイズ学研究センター)
----------------	---------------------	--

KS5-1 Mike Youle (予定) 共催： MSD株式会社

KS5-2 竹田 秀  
慶應義塾大学医学部内科学教室腎臓内分泌代謝内科  
※同時通訳あり

KS5-3 照屋勝治  
国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

# 共催セミナー

■日時：11月25日(日) 18:00～20:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 共催セミナー6

セルフ・マネジメント実践編  
～合併症予防のための介入～

座長 今村顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院  
感染症科)

パネリスト：

加藤哲朗

東京慈恵会医科大学感染制御部

横幕能行

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター  
エイズ診療科

共催： セルフ・マネジメント研究会  
ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月25日(日) 18:00～20:00

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## 共催セミナー7

NNRTI その充実と今後の展望を  
考える

座長 白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/  
AIDS先端医療開発センター)

演者&パネリスト：

山元泰之

東京医科大学臨床検査医学講座

潟永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

矢嶋敬史郎

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

共催： ヤンセンファーマ株式会社

# 共催セミナー

■日時：11月26日(月) 13:15～15:15

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

共催セミナー8

HIV診療教育企画

「超困難症例に対するアプローチ」

座長 青木 眞(サクラ精機株式会社)

演者： 柳澤如樹  
がん・感染症センター都立駒込病院

共催： MSD株式会社

白野倫徳  
大阪市立総合医療センター

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月24日（土） 12:10～13:10

■会場：第1会場（第4校舎B棟・J14（1F））

**共催セミナー  
（昼食付き）1**

HIV/AIDS治療の将来展望：  
一日一回一錠の時代へ

座長 満屋裕明（熊本大学大学院）

LS1 岡 慎一  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

共催： 鳥居薬品株式会社

■日時：11月24日（土） 12:10～13:10

■会場：第2会場（第4校舎B棟・J19（1F））

**共催セミナー  
（昼食付き）2**

HIV検査の啓発について～早期発  
見、早期治療に向けて～

座長 木村 哲（東京通信病院、エイズ予防財団）

LS2-1 HIV感染者の早期診断のために  
味澤 篤  
がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

共催： ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

LS2-2 わが国のHIV流行の終息に向けて  
加藤真吾  
慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：11月24日（土） 12:10～13:10

■会場：第3会場（第4校舎B棟・J29（2F））

**共催セミナー  
（昼食付き）3**

HAND（HIV関連神経認知障害）  
とは？

座長 岸田修二（初石病院 神経内科（前がん・感染症  
センター都立駒込病院 脳神経内科）  
松下修三（熊本大学、エイズ学研究センター）

LS3-1 松下修三  
熊本大学、エイズ学研究センター

共催： アボット ジャパン株式会社

LS3-2 村上雄一  
愛媛大学大学院医学系研究科生体統御内科学

LS3-3 森岡 悠  
がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月25日（日） 12:10～13:10

■会場：第1会場（第4校舎B棟・J14（1F））

## 共催セミナー （昼食付き）4

Abacavirを含む抗HIV療法  
～抗ウイルス効果と忍容性、  
CVDとの関連～

座長 藤井輝久（広島大学病院輸血部）

LS4-1 堀場昌英  
国立病院機構東埼玉病院呼吸器疾患部門

共催： ヴィーブヘルスケア株式会社

LS4-2 本田元人  
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：11月25日（日） 12:10～13:10

■会場：第2会場（第4校舎B棟・J19（1F））

## 共催セミナー （昼食付き）5

改訂版DHHSガイドラインから読  
み取る！  
～高齢化を見据えた薬剤選択のポ  
イント～

座長 味澤 篤（がん・感染症センター都立駒込病院  
感染症科）

LS5 白阪琢磨  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS先端医療開発センター

共催： MSD株式会社

■日時：11月25日（日） 12:10～13:10

■会場：第3会場（第4校舎B棟・J29（2F））

## 共催セミナー （昼食付き）6

服薬の達人への道  
～陽性者アンケートから見えてく  
る長期服薬支援のポイント～

司会 生島 嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京）  
今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病  
院感染症科）

パネリスト：

吉野宗宏  
国立病院機構大阪医療センター薬剤科

羽柴知恵子  
国立病院機構名古屋医療センター

共催： ヤンセンファーマ株式会社

# 共催セミナー（昼食付き）

■日時：11月26日（月） 12:10～13:10

■会場：第1会場（第4校舎B棟・J14（1F））

## 共催セミナー （昼食付き）7

HIV感染症の長期治療成功のカギ  
～新しい治療コンセプトへの挑戦～

座長

満屋裕明（熊本大学大学院生命科学研究部 血液  
内科・膠原病内科・感染免疫診療部）  
岡 慎一（国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター）

LS7 山本政弘  
国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合医療セン  
ター

共催： ヤンセンファーマ株式会社

西島 健  
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発セン  
ター

■日時：11月26日（月） 12:10～13:10

■会場：第2会場（第4校舎B棟・J19（1F））

## 共催セミナー （昼食付き）8

マラビロク使用症例における診療  
の実際

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

LS8 横幕能行  
国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発  
センター

共催： ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11月26日（月） 12:10～13:10

■会場：第3会場（第4校舎B棟・J29（2F））

## 共催セミナー （昼食付き）9

HIV感染者におけるウイルス肝炎

座長

高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液・  
腫瘍内科学）

LS9 四柳 宏  
東京大学感染症内科

共催： ブリストル・マイヤーズ株式会社

# 性感染症学会合同シンポジウム

■日時：11月25日(日) 10:00～12:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

性感染症学会合同  
シンポジウム

STIの最前線

座長

小野寺昭一(富士市立中央病院)  
岩室紳也(公益社団法人地域医療振興協会  
ヘルスプロモーション研究センター)

パネリスト：

男性におけるHPV感染症

重原一慶

石川県立中央病院泌尿器科

日本におけるSTIの現状と傾向

小野寺昭一

富士市立中央病院

MSMと性感染症

井戸田一朗

しらかば診療所

学校教育・教科書でのSTI予防教育の現状と課題

岩室紳也

公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター

★学会認定医教育プログラム(予定)

# 日本エイズ学会認定講習会

■日時：11月26日(月) 13:15～15:15

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

日本エイズ学会  
認定講習会(医師)

写真で見るHIV/AIDS

座長 湯永博之(ACC)

演者： 八代成子  
国際医療研究センター眼科

加藤雪彦  
多摩総合医療センター皮膚科

★学会認定医教育プログラム(予定)

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第7会場(第4校舎B棟・J21(2F))

日本エイズ学会  
認定講習会  
(看護師)

HIV/AIDS看護教育セミナー1  
事例検討で考えるHIV/AIDS看護

司会

城崎真弓 ((独)国立病院機構九州医療センター 副看護師長・HIV/AIDSコーディネーターナース)  
島田 恵 (首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

事例提供者：  
直井寿子  
東京大学医科学研究所附属病院 副看護師長・HIVコーディネーターナース

佐藤知恵  
東京医科大学病院 看護部

コメンテーター：  
下司有加  
(独)国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDSコーディネーターナース

岡野江美  
東京女子医科大学病院 HIV/AIDS看護エキスパートナース

★学会認定看護師教育プログラム(予定)  
\*事前申込制(HP)となっております。

■日時：11月25日(日) 15:55～17:55

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

日本エイズ学会  
認定講習会  
(看護師)

HIV/AIDS看護教育セミナー2  
HIV陽性者のセルフマネジメントを支える

座長

島田 恵 (首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

演者： 武田飛呂城  
NPO日本慢性疾患セルフマネジメント協会

安酸史子  
福岡県立大学看護学部 教授・看護実践教育センター

★学会認定看護師教育プログラム(予定)

# HIV感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会

■日時：11月24日(土) 18:00～20:00

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

**HIV感染症薬物  
療法認定・専門  
薬剤師講習会**

HIV感染者が抱える問題を考える

座長

長谷川直樹 (慶應義塾大学病院医学部感染制御センター)

増田純一 (国立国際医療研究センター薬剤師)

オーガナイザー：

小谷 宙

慶應義塾大学病院薬剤部 兼 医学部感染制御センター

演者： HIV陽性者の生活とその課題

生島 嗣

ぶれいす東京

HIVに対する社会の動向 日本～世界

宮田一雄

産経新聞

HIV感染症とセクシュアルマイノリティ

日高庸晴

宝塚大学

総合討論

★日本病院薬剤師会の認定講習会受講単位(1単位)が付与されます。(予定)

※医療従事者のみ参加可能です。

■日時：11月26日(月) 13:15～15:15

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## 公開講座

AIDS GOES ON… 続いているから続けていく  
～コミュニティ・研究者・行政、連携のこれまでとこれから～

基調講演「連携はなぜ必要か ～ AIDS文化フォーラム  
の20年」

岩室紳也

公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション  
研究センター、AIDS文化フォーラムin横浜 運営委員

## シンポジウム

座長 池上千寿子(ぶれいす東京)  
宮田一雄(エイズ予防財団、産経新聞)

演者 エイズ医療体制とコミュニティ  
白阪琢磨  
課題克服班代表研究者

セクシャルマイノリティ支援とHIV/エイズ  
星野慎二  
特定非営利活動法人SHIP

エイズNGOの現状と課題  
高久陽介  
日本HIV陽性者ネットワークJaNP+

連携事例としてのテーマ選定プロセス  
堀内由紀  
エイズ予防財団

コメンテーター：

岩室紳也

公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション  
研究センター、AIDS文化フォーラムin横浜 運営委員

# 公開シンポジウム

■日時：11月23日(祝・金) 15:00～17:00(三田祭)

■会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎・519

※公開シンポジウムの会場は、学会会場の日吉キャンパスではありませんので、ご注意ください。

## 公開 シンポジウム

エイズ学生サミット

ー僕たちに、今、何ができるかー

座長 南宮 湖(慶應義塾大学医学部呼吸器内科)

### 【第一部 基調講演】

国連からみた世界のHIV/AIDS  
～UNAIDSの現場から

江副 聡  
UNAIDS

セックスと恋愛とパートナー

中村うさぎ  
作家・エッセイスト

### 参加団体：

NPO法人akta  
アフリカ医療研究会  
NPO法人難民を助ける会  
NPO法人Glow  
NPO法人ふれいす東京

主催： 第26回日本エイズ学会学術集会・総会  
プログラム委員会

### 【パネルディスカッション】

エイズ学生サミット  
ー僕たちに、今、何ができるかー

### ファシリテーター：

入野田智也  
慶應義塾大学法科大学院